

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 秦野・有料老人ホーム	階数	地上5階
建設地	秦野市名古木字乳牛田406番1他	構造	S造
用途地域	準住居地域・第一種低層住居専用地域	平均居住人員	69人
気候区分		年間使用時間	4,380時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年7月 予定	評価の実施日	2014年7月28日
敷地面積	1,533 m ²	作成者	株式会社インターピア
建築面積	621 m ²	確認日	2014年7月28日
延床面積	2,457 m ²	確認者	株式会社インターピア



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 参考値: 100%
 建築物の取組み: 83%
 上記+: 83%
 上記+: 83%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	環境配慮のため、節電や節水器具を採用している。維持管理のしやすい建材の採用に努めている。	その他 0
Q1 室内環境	昼光率は、共用部分6.05%・宿泊部分2.125%である。宿泊部分は、カーテン・庇を組み合わせてグレアを制御している。自動照明制御が可能である。内装材は、全面的にFを使用している。	Q3 室外環境(敷地内) 植栽により、良好な景観を形成している。夜間照明を設置し、防犯性に配慮している。
LR1 エネルギー	ERR=20.9%である。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ =83% 建物利用者のための適切な量の自転車置場や駐車スペースの確保をしている。
Q2 サービス性能	個室10m ² /床以上であり、ゆとりある空間形成を実施。配管材は、耐用年数の長い管材を選択している。非常用発電設備を設置。電源設備・精密機械の地下空間への設置を避けている。LAN・PHS網により、通信手段の多様化を図っている。	
LR2 資源・マテリアル	自動水栓に加え擬音装置や自動洗浄小便器を採用し、節水に努めている。LGS下地材を採用している。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される